

本書の利用について

1 調査の目的

米穀生産者の米穀の供給量、消費量、販売量、現在量等の実態を把握し、食糧行政の基礎資料とすることを目的とする。

2 調査機関

農林水産省——— 地方農政局、地方農政事務所

3 調査対象

米穀の生産世帯（子実の生産を目的とした稲の作付延べ面積が10アール以上の農業を行う世帯等。（沖縄県を除く。））

4 調査項目

米穀の生産世帯における米穀の月別の供給量、消費量、販売量、現在量等。
なお、「JA等販売委託」とは、生産調整方針を作成した出荷業者に販売を委託等した数量であり、「有償販売」とは、上記以外に生産者自身が有償で販売した数量である。

5 調査方法

各都道府県における調査対象世帯から、任意系統抽出法によって標本世帯を抽出し、あらかじめ調査票を配布して上記調査項目の記帳を求め、その結果を月ごとに取りまとめの上、都道府県別に月間の数量を推計した。（標本世帯：8,310戸、母集団：約180万戸で推計値を算出。）

6 調査期間

平成19年11月から平成20年10月まで

7 その他

本書利用に当たっての問い合わせ等連絡先
農林水産省総合食料局食糧部計画課（調査班）
電話 03（3502）8111（内線4206）